

令和3年度 事業内部評価

令和3年度に浜松市文化振興財団文化事業課にて開催した鑑賞型事業の内、10公演(6企画)について内部事業評価を実施しました。評価指標は前年度事業評価方式を継続して採用しています。

1 実施した内部事業評価項目

■目標設定

事業開催目的及び狙い、損益分岐点の設定、予算設定、収益目標額、自主財源投入予定額

■事業成果と評価

目的及び狙いの達成度、入場者・参加者・実績値、収支状況

■結果確認、改善点および今後の方向性

達成度・実績値・収支状況による総合評価、担当者・所属長による状況分析及び改善点

2 評価点基準及び総合判定基準根拠

I 目標達成度

満足度	アンケート結果による顧客満足度（良い・大変良いの集計）の割合。そのまま評価点に表記。
-----	--

II 参加者等

券売率	当初設定された有効販売数に対する販売実績率。100%で完売。
入場率	有効座席数に対する入場者実績率。100%で満席。
達成率	券売目標率に対する券売率の達成率。100%で目標達成。

評価点は下記の表により決定

	点数
満席	100
目標達成率 101%～満席未満	90
目標達成率 100%～91%	80
目標達成率 90%～81%	70
目標達成率 80%～71%	60
目標達成率 70%～61%	50
目標達成率 60%～51%	40
目標達成率 50%～41%	30
目標達成率 40%～31%	20
30%以下	10

Ⅲ 収支状況

収入率	当初予定収入額に対する収入実績率。100%以上で収入増。
支出率	当初予定支出額に対する支出実績率。100%以下で経費削減。
財源投入率	当初予定されていた自主財源投入額に対する投入額実績。 100%以下で当初予定より投入額減少。0%で投入額0円、事業単体で収支は黒字。 また予定されていなかった投入額については実額で表記するとともに説明を加える。

評価点は下記の表により決定

	点数
完売	100
収支プラス～完売未満	90
収支0円～9%減	80
10%減～19%減	70
20%減～29%減	60
30%減～39%減	50
40%減～49%減	40
50%減～59%減	30
60%減～69%減	20
70%減以上	10

※収入には自主財源等を含める

Ⅳ 総合判定 評価総合結果の点数により、下記の通り設定

90点～	AA 非常に優秀な水準
70点～	A 優秀な水準
40点～	B 良好な水準だが改善改良の余地あり
20点～	C 一応の水準だがかなり問題あり
0点～	D 多くの問題あり

3 事業評価結果一覧

■事業概要					
事業名	幸和ハウジングクラシックスペシャル アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2021				
開催日・場所	令和3年5月9日、7月4日、8月14日 令和3年1月9日（公演中止）、2月13日（全4回） アクトシティ浜松 音楽工房ホール				
基本方針分類	交わる（音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供）				
内容・目標	国内外の著名コンクールの入賞者など、今後の活躍が期待される若手アーティストを採り上げることで、市民の音楽への関心を高めていくことを目的としている。スポンサー（協賛金）の継続確保により、引き続きクラシック初心者でも来場しやすい価格設定を実現。割り引いたお得な価格のパスポート（5回通し券）を設定することでリピーターを確保。演奏後のアフタートークを企画し、演奏家と聴衆の交流を図り、クラシックファンの拡大を狙う。アクトシティオープン以来続けているシリーズ。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	91.4%	アンケート回収枚数 340枚 回収率 61.4%			91点
II 参加者等	券売率	85.0%	コロナ対策のため感染状況や楽器の特性を考慮して客席数の制限を行ったが、実施公演全てにおいて、発売開始から一ヶ月で完売となった。		70点
	入場率	86.6%			
	目標達成率	89.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	69.1%	5公演中1公演が中止となったため、当初予定より収入・支出ともに減。		80点
	支出率	77.7%			
	財源投入率	101.7%			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	91点	30	27.3点	
量的成果	II 参加者等	70点	40	28.0点	
	III 収支状況	80点	30	24.0点	
			合計	79.3点	
状況・改善点	<p>昨年度はコロナ渦のため販売を中止した年間パスポートを、今年度は復活し販売。入場者のうちパスポート購入者が75%と多く、リピーターが多いことが改めて確認できた。</p> <p>また本企画の特色でもあるアフタートークも昨年度は飛沫感染防止のため中止していたが、今年度から感染防止対策を行い実施。昨年度中止していた紙によるアンケートを試行的に復活。</p> <p>出演者自身のSNSにも情報発信をお願いするなど、幅広い広報を行った。今後もYouTube等、様々な方法を検討し実施していきたい。</p>				

■事業概要					
事業名	Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代ピアノ・リサイタル Vol.3～幻想曲の系譜一心が求めてやまぬもの (5/22) Vol.4～幻想曲の模様一心のかけらの万華鏡 (9/20)				
開催日・場所	令和3年5月22日 アクトシティ浜松 中ホール 令和3年9月20日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる・交わる（音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供）				
内容・目標	地元出身のピアニストである仲道郁代が、自身の演奏活動40周年とベートーヴェン没後200年が重なる2027年に向けたリサイタル・シリーズを、東京・浜松で開催。毎年テーマを設け、トークを交えた演奏会を実施する。 地元の小学生から高校生までの学生を無料招待し、若い世代を含めて音楽人口の裾野を広げることが目的とする。 指定寄附による事業企画。				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度（満足度）	96.8%	アンケート回収枚数 255枚 回収率 20.5%		97点	
II 参加者等	券売率	41.0%	コロナ禍、券売は振るわず目標を達成できなかった。	50点	
	入場率	61.7%			
	目標達成率	68.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	78.5%	昨年度は収容率50%だったが、今年度は100%で実施。収入率は、緊急事態宣言下でもあったため、目標には届かなかった。収入減による財源負担が増加した。	70点	
	支出率	96.3%			
	財源投入率	156.8%			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	97点	30	29.1点	
量的成果	II 参加者等	50点	40	20.0点	
	III 収支状況	70点	30	21.0点	
			合計	70.1点	
状況・改善点	<p>本事業は指定寄附金により企画。「多くの若い世代に聴いてもらいたい」との意向に従い、青少年への無料招待を実施した。</p> <p>子どもと保護者のペアでの来場が5/22は34%、9/20は44%であった。今後も子どもの招待を積極的に広報し、多くの来場者を見込みたい。</p> <p>次年度も引き続き指定寄附事業として継続。</p>				

■事業概要					
事業名	菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラル				
開催日・場所	令和3年5月29日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	交わる (音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供)				
内容・目標	2019年に結成15周年を迎えた、世界でも類例のないジャズ楽団によるライブ演奏。アクトシティでは数少ないジャズ鑑賞機会の提供を目的。また、日頃アクトシティを訪れない方へジャズをきっかけに来場してもらい、他施設の認知度向上も目指す。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度 (満足度)	94.0%	アンケート回収枚数 67枚 回収率 17.0%			94点
II 参加者等	券売率	51.4%	他都市からチケットぴあにてチケットを購入した来場者が50%以上。通常のクラシックの場合10%未満のため日頃と違う層の来場者が多かった。様々な告知を行ったがコロナ禍ということもあり、目標は達成できなかった。		50点
	入場率	46.4%			
	目標達成率	64.0%			
III 収支状況 (予算比)	収入率	106.1%	チケット販売目標には届かなかったが、コロナ対策補助金申請により収入額は目標をこえることができた。		70点
	支出率	120.1%			
	財源投入	478千円			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 B
質的成果	I 目標達成度	94点	30	28.2点	
量的成果	II 参加者等	50点	40	20.0点	
	III 収支状況	70点	30	21.0点	
			合計	69.2点	
状況・改善点	例年ではあまり開催しないジャンルのコンサート開催にチャレンジし、新規の顧客獲得や施設の認知度向上を目的として開催したが、思うように販売数が伸びなかった。コロナ禍もあり、首都圏や静岡県東部中部からの来場者数に影響したと考える。ただ、日頃とは違う層の来場者が多かったため、アクトシティの認知度向上にはつながった。今後はYouTubeを活用するなど、違う層への広報も研究し実施していきたい。				

■事業概要					
事業名	侍 BRASS ー結成 15 周年記念公演ー				
開催日・場所	令和 3 年 8 月 31 日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる・交わる（音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供）				
内容・目標	<p>ブラス&パーカッション 10 名を最大編成とした、ソロを含む様々な編成のブラスアンサンブルを展開することで、多くの来場者にとって初めて観るコンサートスタイル、初めて聴くサウンドとなる。バリエーション豊かな構成で、一般的なクラシック公演や吹奏楽公演とはまた違った新鮮さや感動を提供する。</p> <p>吹奏楽愛好家の活動の目標や新たな挑戦のきっかけとなり、市民文化活動の振興やレベルの向上を目指す。</p>				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	92.9%	アンケート回収枚数 28 枚 回収率 5.2%			94 点
II 参加者等	券売率	48.6%	企業協賛により、目標販売数が座席数の半分以下で設定できたため、目標を達成できた。		90 点
	入場率	53.6%			
	目標達成率	108.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	94.6%	公演日 10 日前に緊急事態宣言が発令、すでに収容数 50%を上回るチケット販売があったため販売を停止、希望者への払い戻し対応を行った。そのため、予定外の支出が発生した。		80 点
	支出率	104.0%			
	財源投入	138.1%			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定
質的成果	I 目標達成度	94 点	30	28.2 点	
量的成果	II 参加者等	90 点	40	36.0 点	
	III 収支状況	80 点	30	24.0 点	
			合計	88.2 点	A
状況・改善点	<p>企業協賛により、チケット金額及びチケット販売数を低く設定することができ、目標を達成できた。ただし、緊急事態宣言発令に伴う対応で支出が増加、また払い戻しによる収入減があったため、最終的には自主財源を予定以上に投入する結果となった。</p>				

■事業概要					
事業名	Six Unlimited Concert Tour 2021～オールスターズの企て～ Season2				
開催日・場所	令和3年12月22日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	交わる（音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供）				
内容・目標	東儀秀樹（雅楽）、古澤巖（ヴァイオリン）、塩谷哲（ピアノ）、小沼ようすけ（ギター）、大儀見元（パーカッション）、井上陽介（ベース）が出演。それぞれが異なるジャンルのプロフェッショナル6名によって、伝統芸能・ロック・ジャズ・クラシック・ポップス、ジャンルを超えたステージを届け、多様な音楽に触れる機会を提供する。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	100.0%	アンケート回収枚数 62枚 回収率 7.8%			100点
II 参加者等	券売率	44.9%	過去の類似公演の時は完売したが、今回は目標から大きく離れてしまった。過去より出演者が増え、内容が抽象的で伝わりにくかった。		40点
	入場率	52.7%			
	目標達成率	58.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	58.5%	当初の自己財源投入は0円だったが、収入実績が低く、支出も大幅に削減することができなかつたため、財源を投入する結果となった。		50点
	支出率	92.5%			
	財源投入	2,628千円			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 B
質的成果	I 目標達成度	100点	30	30.0点	
量的成果	II 参加者等	40点	40	16.0点	
	III 収支状況	50点	30	15.0点	
			合計	61.0点	
状況・改善点	<p>令和元年11月に今回出演のうち3名出演するコンサートを実施。大ホール中規模利用の有効座席数1,518席に対して1,483枚販売、97.7%の販売率でほぼ完売だった。</p> <p>2年ぶりの本企画では出演者を増やし更に多ジャンルとして誘客を試みた。結果は前回の販売数には遠く及ばなかつた。新聞、テレビ、ラジオによる広報から、名古屋市や県内各地へのコンサート会場でのチラシ配布、出演者のメッセージをSNSなどで発信等、様々な広報活動を行ったが販売数は伸び悩んだ。</p> <p>今後の事業計画としては今回の反省を踏まえて、過去実績が良好だったものに関しても直近の他都市での類似公演や流行を調査し、慎重に企画していく。</p>				

■事業概要					
事業名	野村万作・萬斎 狂言公演				
開催日・場所	令和4年2月9日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	育てる・伝える（知名度のある演目・演者を取り入れることで、若い世代にも伝統芸能の魅力を発信していく）				
内容・目標	人間国宝・野村万作と現代劇や映画など多彩に活躍する野村萬斎が率いる「万作の会」による狂言公演。演目：狂言「棒縛」、「川上」、「茸」				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	92.5%	アンケート回収枚数 62枚 回収率 7.8%			93点
II 参加者等	券売率	67.9%	全体的に50代以上の方が多く来場。反対に学生席は売れ行きが伸びず、若い層の来場は少なかった。		70点
	入場率	62.4%			
	達成率	89.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	87.4%	当初の自己財源投入は0円だったが、コロナ感染者が拡大していることも有り収入実績が低く財源を投入する結果となった。		80点
	支出率	95.4%			
	財源投入	495千円			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	93点	30	27.9点	
量的成果	II 参加者等	70点	40	28.0点	
	III 収支状況	80点	30	24.0点	
			合計	79.9点	
状況・改善点	<p>急激なコロナ感染拡大がありチケット販売数が伸びなかった。（例年の同様の公演はほぼ黒字収支）</p> <p>感染状況を予想することは難しいが、感染拡大の中でも安全に安心して観劇できる環境を周知し、チケット販売につなげたい。</p> <p>また、来場者に初めて狂言を見るお客様が多く古典芸能の振興を図れたが、学生席が売れなかった実態を考えると若い層への振興は十分ではない。今後は若い世代へYouTube等での広報を行い、伝統芸能の楽しみ方などを伝えることが重要。</p>				